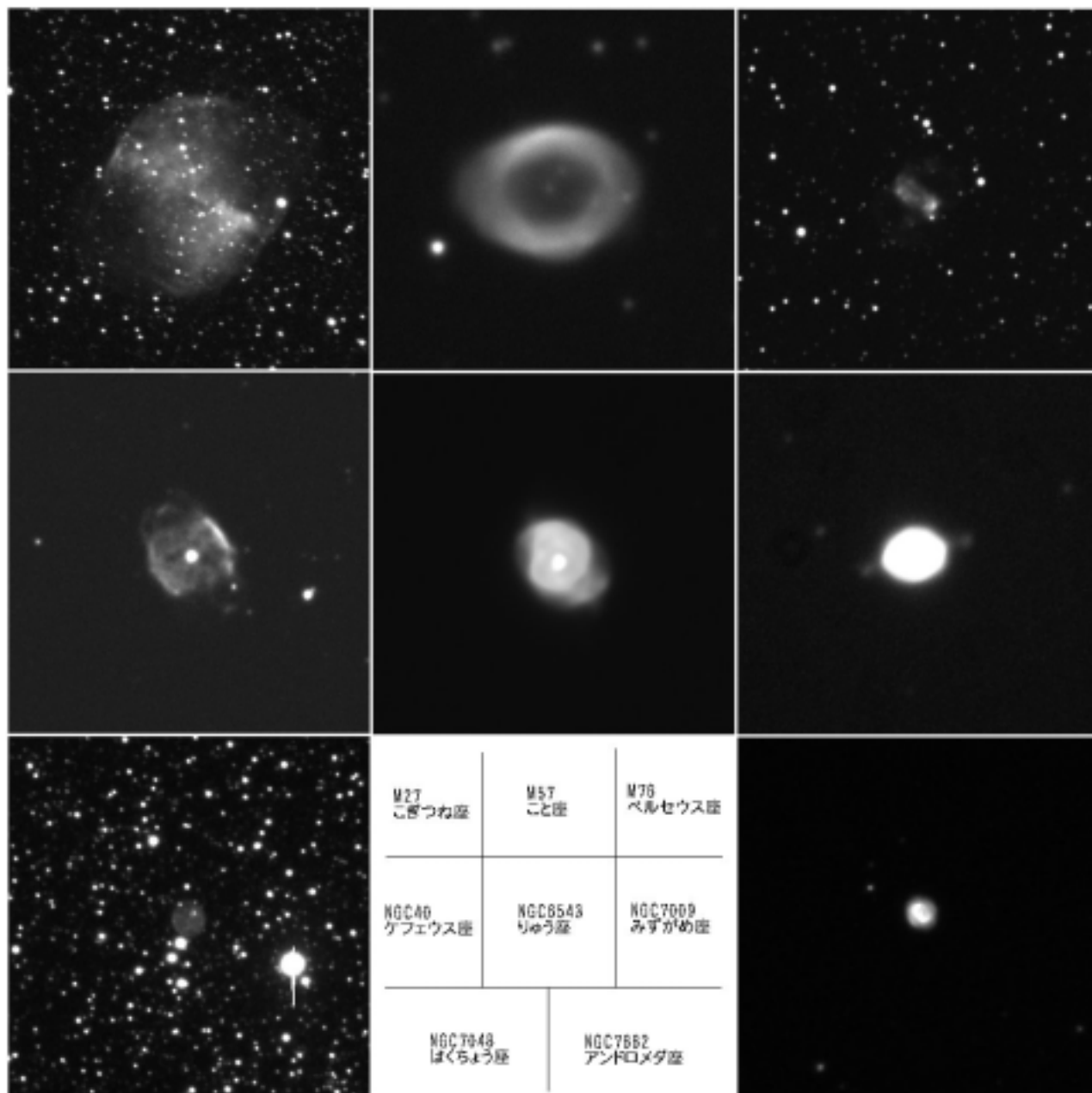
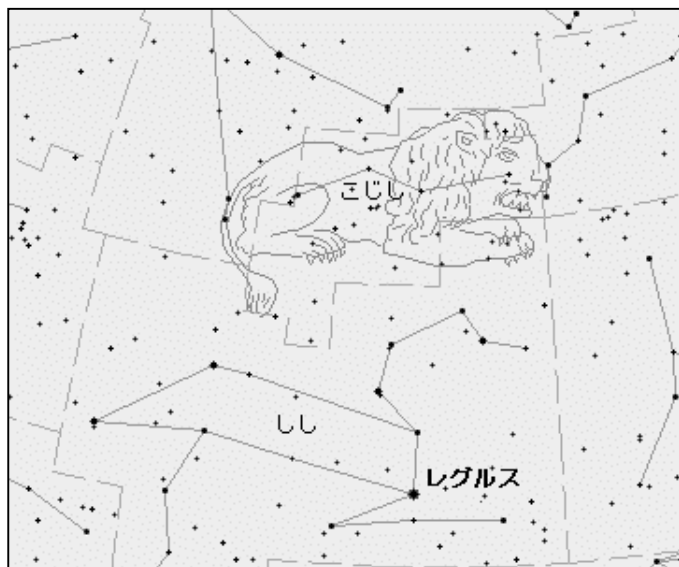


February 2002



いろいろな惑星状星雲 : 夜空には惑星やふつうの星（恒星）のほかに、雲のように見える「星雲」や、恒星が群を作る「星団」等があります。星雲の中にも数十光年の広がりを持つガスでできた「散光星雲」と、寿命を終えた恒星から吐き出されたガスによってできた「惑星状星雲」があります。惑星状星雲の名前は、見かけ上の大きさや、形が惑星に似ているところから付けられたもので、惑星とは関係ありません。

綺羅星・星座図鑑



こじし座 (Leo Minor)

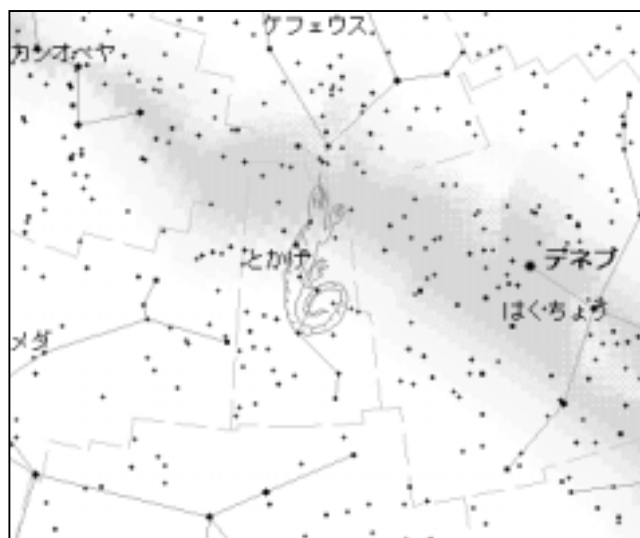
こじしは子獅子（ライオンの子）ではなく小獅子（小さいライオン）です。しし座とおおぐま座の間にある小さな星座ですが、しし座とは全く関係なく、ギリシャ神話也没有せん。

小獅子座は 17 世紀末にヘベリウスが作った星座で、4～5 等星が“へ”の字形を作っているのがわかる程度です。ふつう星座の星には明るい方から α （アルファ）、 β （ベータ）、 γ （ガンマ）…と符号がつくのですが、こじし座には α 星がありません。また、小望遠鏡で楽しめる天体もなく寂しい星座です。

とかげ座 (Lacerta)

とかげ座は 1690 年にヘベリウスが作った新しい星座のひとつです。星座の形は 5 個の 4 等星がジグザグに並んだ姿で、天の川の中にあるためちょっとわかりにくくなっています。

位置は白鳥座とカシオペヤ座に挟まれているので、わかりやすい位置ではあります。星座としては見るものもありますが、天の川の中ということいくつか星団があり、双眼鏡で眺めるとたくさんの星を見ることができます。



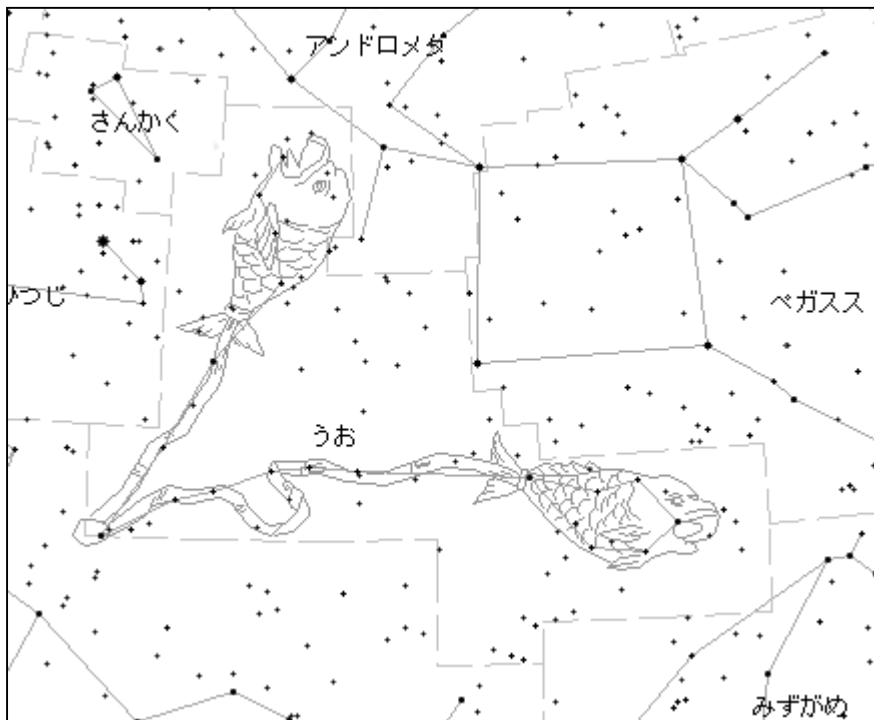
うお座 (Pisces)

誕生日の星座としておなじみのもので、プトレマイオスが作ったギリシャ神話にまつわる星座の一つです。星座絵には二匹の魚の姿が描かれていますが、ギリシャ神話では愛と美の女神アフロデーテとその子エロスの姿ということになっています。

ある日神々がナイル川の川岸で宴会を行っていたとき、突然怪物テュフォンが現れ襲ってきました。テュフォンは頭が百もあり、目と口から火を吐き暴れまくるという怪物です。神々はあわてふためきちりちりになって逃げました。アフロデーテとエロスもあわてて川に飛び込み、魚に姿を変えて逃げたのです。二匹の魚がリボンで結ばれているのは、二人が離ればなれにならないためだということです。

魚座の二匹は「北の魚」と「西の魚」と呼ばれていますが、星座の形から「北の魚」をサンマカウナギ、「西の魚」はタイの様に見えます。

魚座には春分点があるため天文学上重要な位置にあります。春分点は太陽が南半球から北半球に入る



位置で、天体の座標を決めるための基準点になります。現在の春分点は西の魚のしっぽの近くにありますが、毎年少しずつ西へ移動しているため 2620 年ごろにはとなりの水瓶座へと変わります。

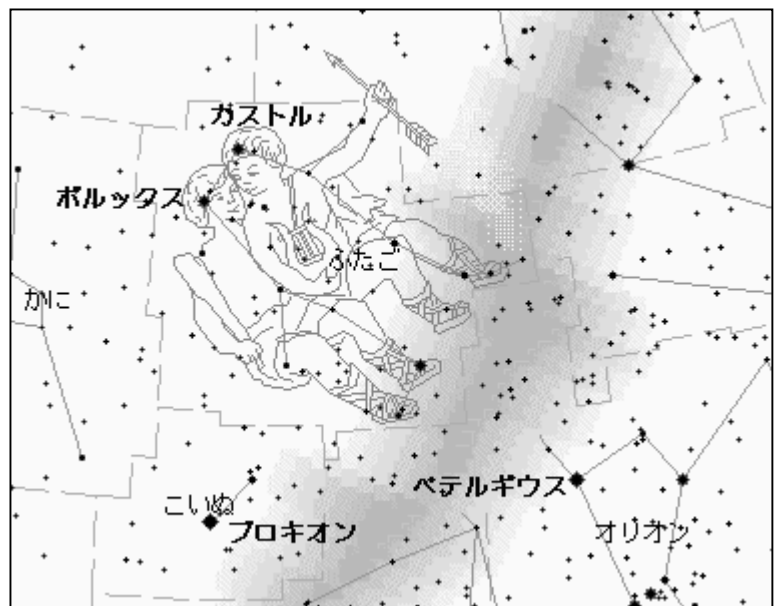
魚座にはあまり明るい星がなく、結び目にあるα星が 4 等星であるほかは 5 等星以下の星ばかりです。そのα星は 4.3 等星と 5.2 等星が並ぶ二重星で、8 cm くらいの望遠鏡でわかりますが、この星は 720 年周期でまわる連星なのです。二つ

の角度は次第に近づいてい、小口径では見づらくなってきているのですが、2074 年にもっとも近づき、そのころは 15 cm 以上の望遠鏡でなければ見られなくなります。

ふたご座 (Gemini)

これも誕生日の星座としておなじみで、プロトマイオスが作ったギリシャ神話にまつわる星座の一つです。

カストルとポルックスは、スパルタ王タユンダラスの後レダと大神ゼウスの間に生まれた双子の兄弟で、兄カストルは乗馬の名手、弟ポルックスは剣術とボクシングの強者です。二人とも多くの戦いの中でめざましい働きを遂げていたのです。ただ、二人の違いはカストルは人の子で、ポルックスは不死身の神の子であるということです。後に二人は、メッセナのイダス兄弟と戦い、カストルは戦死しました。不死身のポルックスはカストルの敵を討ち、カストルの後を追おうとしましたがそれはできません。そこで大神ゼウスに頼んで、自分の不死身を解いてもらい、ともに天に昇り星座にしてもらったということです。



カストルは白い 2 等星、ポルックスはオレンジの 1 等星ですが、1.6 等星と 1.2 等星なので明るさの差はあまりありません。カストルを望遠鏡で見るとほぼ同じ明るさの二つの星 (A と B) と、少し離れて 9 等星 (C) が見えますが、この三つの星は連星系を作っていて、それぞれの星が二つずつからなる六重連星になっています。A と B は約 500 年周期、C とは 15000 年周期という長い時間をかけて回っています。

綺 羅 星 列 伝

皆様からお寄せいただいた星物語の一部をご紹介します。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前 : SATSUKI

旅の記念と自分へのご褒美として、北の地での感動を永遠に刻み続けて、まだ見ぬ運命の人と巡り合えるように願いを込めて・・・。

私は 1999 年 6 月 29 日から 10 月 6 日の 100 日間、自転車ひとり旅で北海道を回りました。人生の挫折を感じ、自信を取り戻すための自分探しの旅だったのです。今しか出来ない事、それが今回の旅だったのです。いろいろな人に出会い、助けられて、病気一つせず、元気に旅をする事が出来ました。本当にありがとうございました。

初めてのキャンプはさすがに心細かったけれど、次第に度胸がついていきました。キャンプを通じて日の出、鳥のさえずりで目が覚めて、自然の中で生きている事を実感しました。また、創意工夫の必要性（例えばテントの中に洗濯物を干せる様に紐を取り付ける等）や、物を大切にすること（買い物袋は特に必要）、そして上手な収納法（使用頻度を考えてきちんと収納する）等、生活する上での知恵がついてきたと思います。

夕方、峠越えの時、霧、雨、「熊出没」の看板が目に入り怖くて泣きたい位でした。その時見た斜里町のひまわり畑は筆舌しがたい位美しく、雨露でキラキラ輝き心にひまわりが咲いた様でした。まるで天使が舞い降りたように見えました。また、知床峠から見る近くて遠い島「国後島」は歴史的背景を想うと、とても感慨深く感じられました。広い大地、緩やかな丘陵地帯、美しい花畑、澄みきった湖、沈みゆく夕日をそれぞれの地で幾度も目にすることが出来ました。サイドバックを盗

難に遭い、途中で断念しようと思ったあの時、ふみとどまって続行できたのは、この美しい景色を思い出したからなのではないでしょうか。あのまま帰らずに本当に良かったと思っています。フェリーから利尻島、礼文島を望んだ夕暮れ時、辺り一面絵の具を散りばめた様な美しさはしっかりと目に焼きついています。初山別のみさき公園からの天売島、焼尻島の灯、水平線に沈む月は感動もひとしおでした。

このような旅の感動を胸に刻むと共に自分の星を持つ事は、私の永年の夢だったのです。

私の星「SATSUKI」はペガサス座にあります。ペガサス座は翼を持ち空を駆ける天馬ペガサスの姿です。おこがましい限りですが、このペガサスが、旅の途中で立ち寄った「私」に思えたのです。またペガサス座に祈れば理想の人を運んでくれるという説もあるのです。ペガサスの神、そして「SATSUKI」に願いを込めていけば、いつの日かは・・・と信じています。

登録日 1999.9.9 は苦勞を乗り越えてククククククククと笑って日々を過ごせますようにという意味が込められています。この星を見る度、あの時の感動がよみがえり、更に新しい感動を求めていきたい。いつまでも美しい日本、地球、宇宙でありますように。

今、私の顔はしみだらけですが、このしみの一つ一つが勲章だと思っています。今、自分に自信が持て自分を好きになれます。星に負けないよう

に、一生輝きつづけていきたいです。いつまでも
チャレンジ精神を持ち続けていられるのですか
ら。

そして、いつの日か家族で再び初山別村へ行き、
新しい家族の名前を刻む日が訪れますように。

星の名前 : **ATTI**

この星は、私が 14 才の誕生日の日、朝に届い
た物です。

最初は、何かと思ったが中をあけてみると友達
からのプレゼント。しかも星。自分の星がプレゼ
ントなんて、とっても HAPPY です。

この星は、私の名前のあと友達の子のかっちを
合わせ、ATTI にしました。とても思いでの残るプ
レゼントです。絶対忘れません。

私は、小さい時、キャンプに初山別に行きまし
た。その時もてんぼう台で夜星を大きな望えんき
ようで見ました。その時、とても初山別っていい

所って思いました。「また行きたいなー」と思
っていたらプレゼント。とってもプレゼントをも
らった私もうれしかったのですが、家族みんなす
ごいねー、とおどろきがすごかったです。

本当にプレゼントをしてくれた友達に「本当に
どうもありがとう」といいたいです。一生の思い
出の星になりました。

みんなありがとう。

星の名前 : **JUNA**

うちの長女が今 4 才になりました。

3 才のクリスマスの日でした。私の父が肺ガン
と宣告されて 8 ヶ月でなくなりました。なにがな
んだか心の中が整理がされないまま一日一日が
過ぎてしまいました。父親にとって初めての孫だ

ったので言葉ではいいあらわせないほど珠菜^{じゆな}を
可愛がってくれました。父の体が自由にならな
くなってきた 11 月頃、ものすごく体が辛いのに毎
日のように珠菜に会いに来てくれて、公園とか散

歩に連れて行ってくれました。そんな父が 1 人
でも寂しくないように、星に珠菜と名を付けました。
いつもみんな一緒だよお父さんと言いたくて。

最後父が息を引き取るとき、私たち家族は間に
合いませんでした。

今でも珠菜がいます。

「じーじ目をあけて珠菜の所へ来て公園に
遊びに行こうね」

星の名前 : **Star of IZIMI**

泉が生まれたばかりの頃、北海道の初山別村から星のお便りがきたよと主人。まさか、娘の星の名前が届くなんて、信じられませんでした。

星の名前は、Star of IZUMI

世界にひとつしかない泉の星という意味で、おとうさんがつけてくれました。泉も、今年の春から小学生になります。

泉ちゃんへ・・・

人間生きてると、さまざまな出来事にぶつかることがあります。でも、ふと空を見上げると心が落ちつくことがあります。この先、つらいことや悲しいことに会ったら、この無限に広がる夜空に自分だけの星があり、この逆境を乗り越えれば、大きくなれるんだと思ってがんばってほしいです。そうすると、ひとまわりもふたまわりも人間的に大きくなれるよ。

また、楽しいこと、うれしいことがあったら、星に向かって語りかけてごらん。いつでも、お星さまは、泉のことを見守っていてくださるよ。

泉も、今年の春から小学生、お友達と仲良く遊んで、勉強して、人には優しく感謝の気持ちをもって、心にうるおいのある人間になってほしいです。

将来、泉が大きくなって、家族で初山別村に訪れることがあったら、おかあさんのこのメッセージ読んでもらいたいなあ。少しでも、自分の糧になればと思っています。おとうさん、おかあさんは、いつまでも泉のことを思っているよ。

母より

星の名前 : Daiki

1997年11月22日（土）、3連休の初日の朝。この日は「山一証券 自主廃業」の大ニュースとともに夜が明けました。そのニュースで日本はもとより世界中の人々が困惑している頃、東京の真ん中で一人の男の子が生まれました。

ひときわ大きな声で泣くこの男の子は、たちまち病棟で有名になりました。また大勢の人がこの男の子の誕生を祝福してくれました。お父さんとお母さんは、この男の子がもたらしてくれたかけがえのない幸福にとっても感謝しています。

男の子が生まれる数時間前に、ペガサスが翼を広げた秋の夜空の下、おなかの大きなお母さんをクルマで病院まで猛スピードで連れていった時のことを今でも覚えています。真夜中でクルマも

人もほとんど見かけない街中を、ドキドキしながら運転しました。病院に着いてから寒いロビーでじっと待つ間は不安でいっぱいでした。無事に男の子が生まれたのは5時間近く後の、午前9時51分のことでした。初めは実感がわかなかったけど、家に帰って一人でベッドに入ったとき、興奮して眠れませんでした。お母さんはもっと興奮していて、産んだ直後からはしゃいで、張り切っていました。

生まれてきた男の子の名前は大樹（だいき）。

名前のようにすくすくと、そして生まれてくる前の晩に天空を駆け巡ったペガサスのようにのびのびと成長していく姿を、これから先永遠に、この星『Daiki』が見守ってくれることでしょう。

こちら情報室

2002 年の天文情報

今年の惑星

水星 見やすい時期は 6 回ありますが 5 月上旬の夕方は金星が近くにあるので見やすいでしょう。

金星 10 月上旬まで夕方の空、11 月中旬から明け方の空に見えます。

火星 7 月まで夕方の空にありますが、遠く小さくなっているので適しません。

木星 1 月 1 日に地球に接近して 6 月末まで見えますが、8 月下旬から明け方の空に見え始めます。

土星 5 月中旬ころまで夕方の空、7 月下旬ころから明け方の空に見えます。地球に接近するのは 12 月 18 日。

天・海・冥王星 天王星と海王星はやぎ座にあって夏から秋、冥王星はへびつかい座にあって春から夏が見やすいですが、何れも望遠鏡が必要。

日食・月食

5 月 26 日 19 時 13 分から 22 時 54 分まで、全国で半影月食が見られます。月の南側がわずかに暗くなるだけです。

6 月 11 日、北太平洋で金環日食がありますが、日本では全国で 40% 前後欠ける部分日食が見られます。

12 月 4 日はアフリカ南部からオーストラリアで皆既日食が見られます。日本からは見えません。

惑星食

火星食 12 月 30 日の日中 10 時 30 分過ぎに見られます。日中なので火星は肉眼では見えませんが月は見えます。

土星食 3 月 20 日に関東以北で 19 時過ぎに見られます。

小惑星ベスタ 3 月 20 日の土星食のすぐ後の 20 時過ぎに小惑星ベスタの食もあり北海道で見られます。

流星群

ペルセウス座流星群 8 月 13 日を中心に 1 週間くらいは多く見られますが、今年は月明かりがなく絶好の条件です。

しし座流星群 11 月 19 日未明のアメリカ方面で大出現が見込まれていますが、満月に当たるので数は昨年よりは少ないでしょう。日本では 19 日の夕方になります。

ふたご座流星群 12 月 14 日を中心に見られます。今年は上弦を過ぎた月があり観測にはやや不利です。

第 11 回しょさんべつ星まつり

今年はまだ検討中ですが、日程は 8 月 3 日（土）～4 日（日）の予定です。

お知らせ -- 重要 -- 「My Stars 通信」の発行に関して

「My Stars 通信」は登録者との情報交換の場とした情報誌で、13号は4500通発送しました。しかし毎回100通前後が宛先不明で戻ってきます。小さな村としてはこのような経費負担は結構重要な課題となっています。この件について教育委員会事務局で協議した結果、今後以下のような方針で進めることになりましたので、登録者の皆様のご理解をお願いいたします。

新規登録者から「My Stars 通信」の送付は1年間(初年度2回)とする。既登録者も随時調整し、すでに1年以上経過している方は発送しない

「My Stars 通信」は村のホームページ上の掲載を主とする

インターネットを利用できない方、及びどうしても従来の方で送ってほしいという方には、申し出により郵送する

「My Stars 通信」が届かなくなっても登録者ということには変わりませんから、サービスは引き続き行われます。

- * - - * - - * - - * - - * - - * - - * - - * - - * - - * - - * - - * - - *

「My Stars 通信」の天文図は **StellaNavigator5(ASCII/Astroarts)** を使用しています。

[連絡事項]

住所 氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mail どちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

[編集後記]

My Stars 登録者は1月10日現在で5,848名です。この通信は本来なら11月はじめに発行するはずだったのですが(グーはできていたのですが)、こちらの事情によりすっかり遅くなってしまいました。

21世紀最初の年もあつという間に過ぎてしまい今世紀も残すところ99年を切りました。みなさんにとってはどうような1年でしたか。天文台は平成元年のオープンから13年が経ちあちこちに疲れがでてきています。

さて、みなさん11月のしし座流星群は見られたでしょうか。全国的に晴天のところが多かったようで、聞くとところによると全国で200万人が見たとか。ここ初山別は見事な快曇でした。冬の日本海ですから。結構問い合わせもあつたのですが、涙をのんで「道東方面の方が良いですよ」と薦める自分の姿が…。それでも時々雲の切れ間から流れるのは見えました。

11月下旬からほぼ1ヶ月は荒天で12月上旬は連日の猛吹雪でした。荒天も収まってホッとしたのも束の間、今度はドームが回らない!! あれこれ原因究明と復旧に1ヶ月ほどかかってしまいました。故障中に来られた方ゴメンナサイね。

悪天候+故障でリニア彗星、ふたご座流星群、りゅう座流星群全滅でした。木星と土星もほとんど見ていません。(K)

編集・発行 初山別村教育委員会社会教育係 〒078-4421 北海道苫前郡初山別村字初山別155-1

初山別村ホームページ URL=<http://hokkai.or.jp/shosanbe/>

教育委員会 E-mail : shkyoiku@saturn.plala.or.jp 天文台 E-mail : shosanbe@hokkai.or.jp